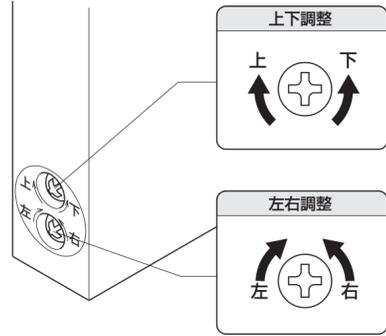


■引戸本体の調整

〔上下調整(調整幅+4mm、-2mm)〕

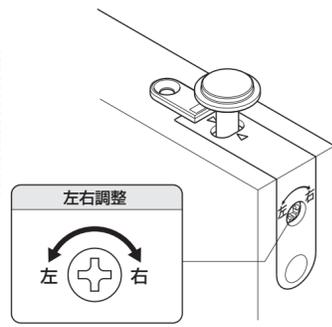
- 本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。



〔左右調整(調整幅±2mm)〕

- ①本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。
- ②本体両上端の左右調整ねじを右に回すと本体が右に動き、左に回すと左に動きます。

●お願い
※左右調整する場合は、本体同士がぶつからないように注意してください。又、本体と中縦枠モヘアが接触しすぎて、開閉が重くならないよう調整してください。



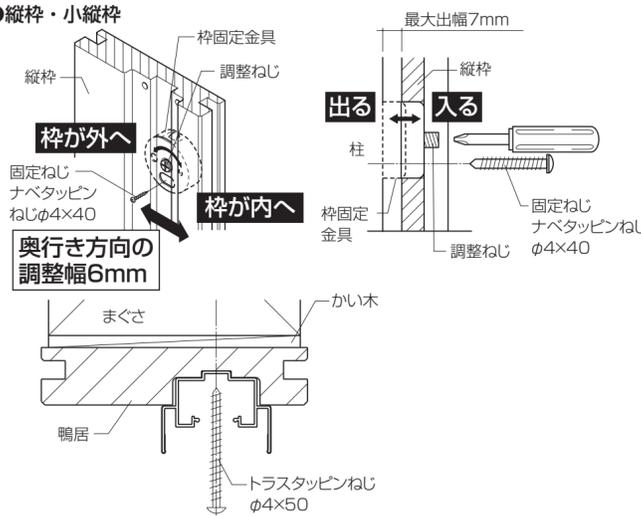
■ソフトクローズ機能 異常時の対処方法

現象	チェックポイント	対処方法
閉まりきらない すき間	●下レールに粉塵やゴミがたまり付着している	清掃してください。 ※この面に付着している汚れをふき取ってください 下レール ※この部分にたまっているゴミを吸い取ってください
	●ガイドローラーが上レールのセンターと芯がズレている	ガイドローラーの左右調整ねじで芯を合わせてください。 ■ガイドローラーの調整 左右調整ねじを右に回すと本体が右に動き、左に回すと左に動きます。(調整幅左右各2mm)
	●本体とモヘアが接触している	戸車とガイドローラーの左右調整ねじで本体にモヘアが触れて開閉が重くならないように調整してください。 ■戸車の調整 左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。(調整幅左右各2mm) ■ガイドローラーの調整 左右調整ねじを右に回すと本体が右に動き、左に回すと左に動きます。(調整幅左右各2mm)
	●下レールの端部が敷居から浮いている ※下レールの端部が浮き上がっている	下レールをすき間なくたたき込んでください。 ※必ず当て木をして、下レールをたたき込んでください。 プラスチックハンマー 当て木 下レール 敷居
	●枠の取付け精度が許容範囲をオーバーしている ※「取付け精度の許容範囲」の欄参照	許容範囲内となるように再施工してください。
	●上レールの取付状態で(a)寸法が狭まっている(レール端部駆体ねじ取付箇所)	(a)寸法が 14.2 ± 0.3 になるようにレールを矯正してください。 矯正 上レール
	●ソフトクローズ部品の外観に潤滑剤が塗布された形跡がある	ソフトクローズ部品の交換が必要です。
ブレーキが効かない	●ソフトクローズ部品の外観に潤滑剤が塗布された形跡がある	ソフトクローズ部品の交換が必要です。

2 枠の取付け

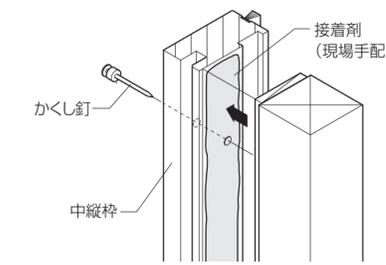
- ①縦枠に取付けられている枠固定金具(縦枠に3個取付け)の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
- ②枠の垂直を確認してください。
- ③固定ねじ(ナベタッピンねじφ4×40)を枠固定金具の長穴中央部より締付けてください。
- ④枠の奥行き方向の倒れを確認してください。倒れている場合は、固定ねじをゆるめ、枠を動かします。(奥行き方向の調整幅は6mmです。)調整後、ねじを固定してください。
- ⑤枠の垂直を確認してから、枠固定金具の取付している部分の開口寸法が均等になるように調整してください。
- ⑥再度、枠の垂直を確認してください。
- ⑦鴨居にかい木を入れてトラスタッピンねじφ4×50で固定してください。
※縦枠の固定箇所を増やしたい場合は、予備の鴨居取付けねじ(トラスタッピンねじφ4×50)で固定してください。

●縦枠・小縦枠



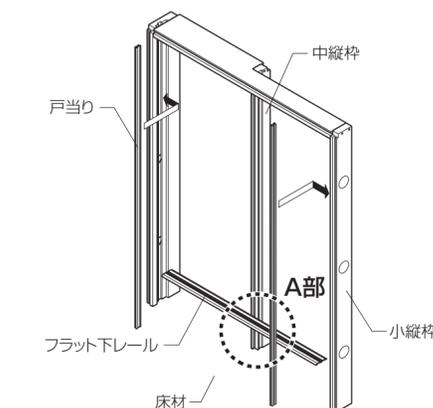
●中縦枠

- ※裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、専用のかくし釘で固定します。



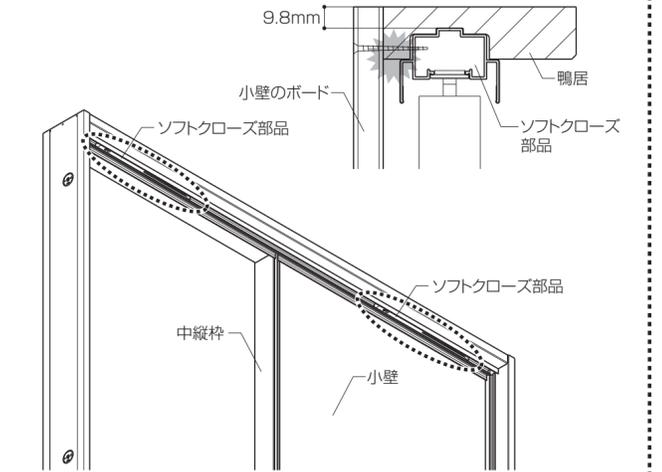
●片引き枠

- ①フラット下レールに同梱の中縦枠下部スペーサーを、リップ面を上向きにして中縦枠のすき間に入れてください。
- ②フラット下レールに付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。



●お願い

- ※枠固定金具の調整には電動ドライバーを使用しないでください。
- ※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。
- ※片引きの建具引込み部の小壁は、枠を開口部に取付けてから施工してください。小壁のボードを取付ける際、取付けねじが鴨居と鴨居レールを貫通しないように注意してください。下図の位置にソフトクローズ部品があるため、部品が破損し、作動不具合の原因となります。

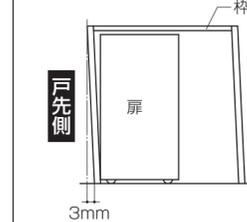


- ※軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のねじでは取付けできません。現地にて鉄骨までかかる長さのねじを手配してください。
- ※鴨居の躯体固定ねじを締込みすぎると、本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合はねじをゆるめてください。

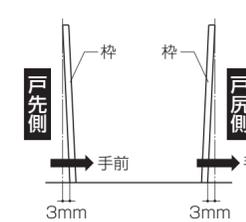
■取付け精度の許容範囲

- ※横方向の倒れ・奥行き方向のねじれ・枠のタイコ・ツツミが3mmを超える場合は、3mm以内になるように取付けを修正してください。(引戸が吊込めない・ソフトクローズ機構の作動不具合の原因となります。)

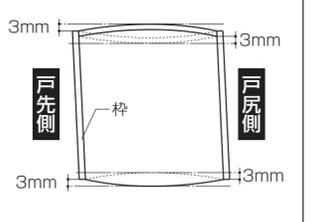
●横方向の倒れ



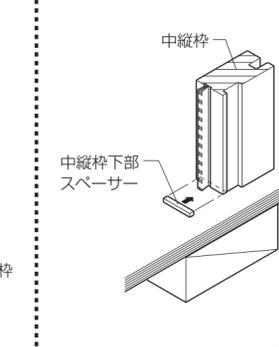
●奥行き方向のねじれ



●枠のタイコ・ツツミ

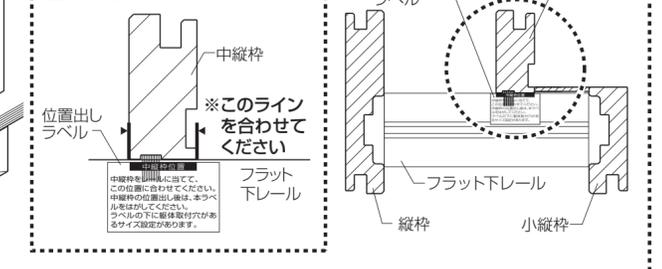


■A部詳細



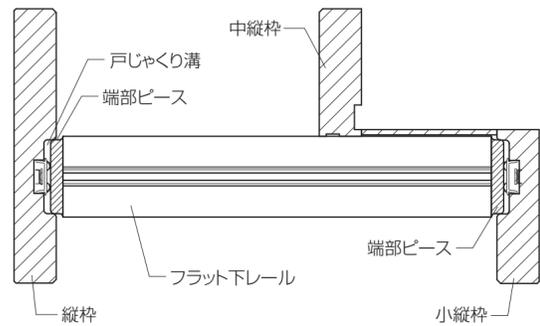
- 中縦枠の位置出しはフラット下レールの位置出しラベルに合わせて取付けてください。

■B部詳細

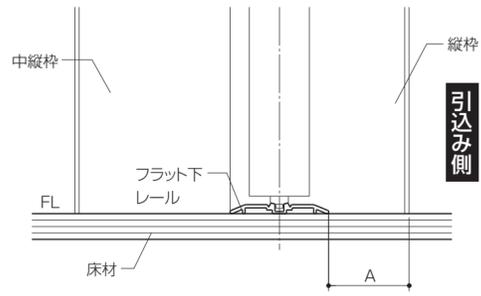


【フラット下レールの取付け】

①フラット下レールに同梱されている端部ピースを縦枠戸じゃくり溝側にはめ込みます。



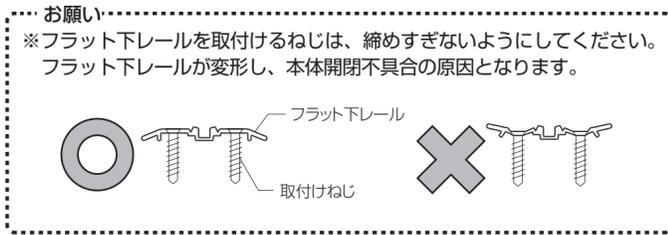
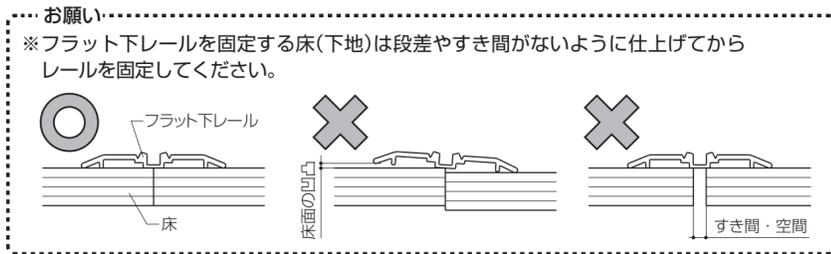
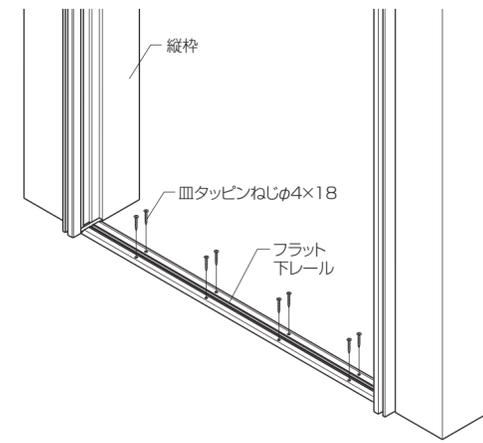
②フラット下レールを縦枠に合わせて仮置きしてください。
※引込み側にA寸法あけて仮置きしてください。



■A寸法

枠種類	A
NC156	37.5
NC171	52.5
NC180	61.5
薄壁	17
厚壁	44

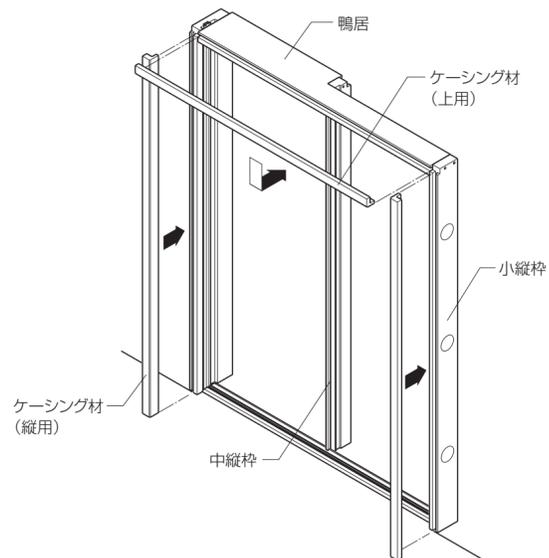
③フラット下レールをねじ(皿タップインねじφ4×18)で固定します。



③ ケーシング材の取付け(ケーシングタイプのみ)

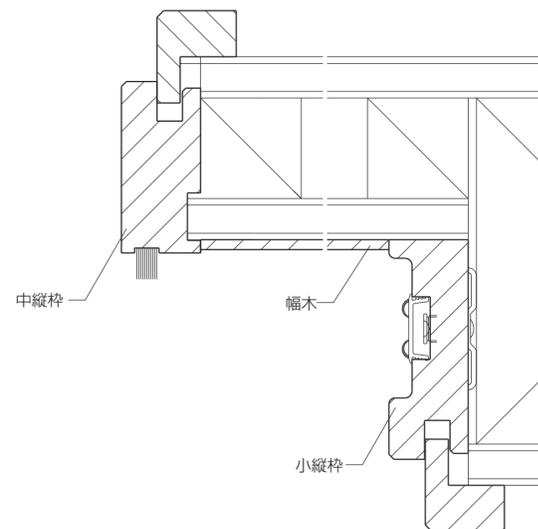
※壁材・床材を仕上げしてからケーシング材を取付けてください。

- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。



④ 幅木の取付け

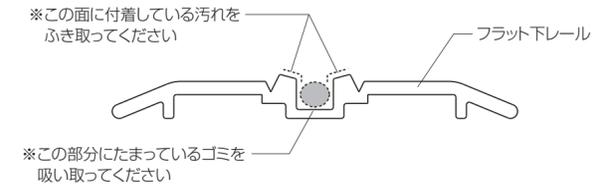
※小壁のボードとフラット下レールを見切るために幅木が同梱されています。必ずご使用ください。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤(現地手配)を塗布し、専用のかくし釘で固定します。かくし釘のピッチは、200~300mmです。



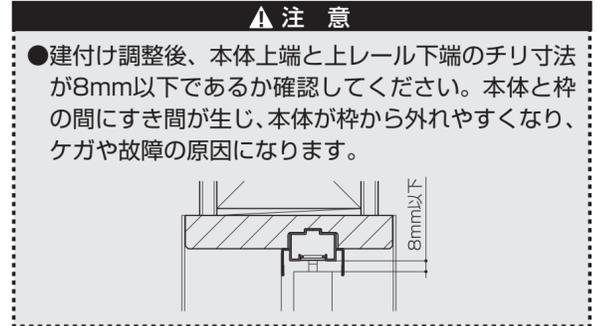
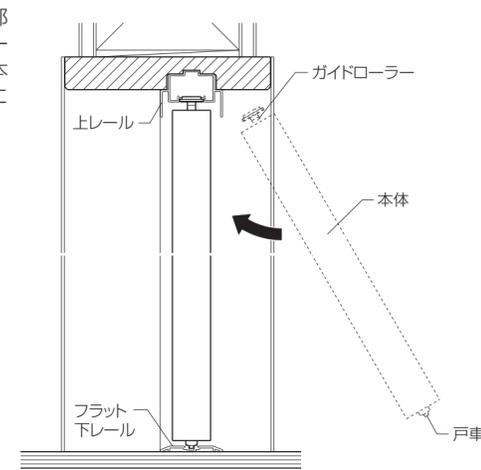
⑤ 本体の吊込み

※本体の吊込み前に以下の作業を行ってください。

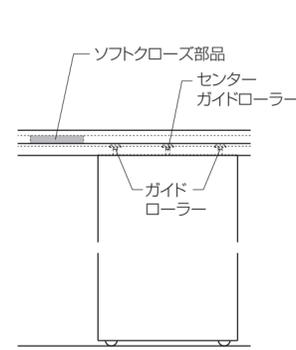
①レールの清掃を行ってください。



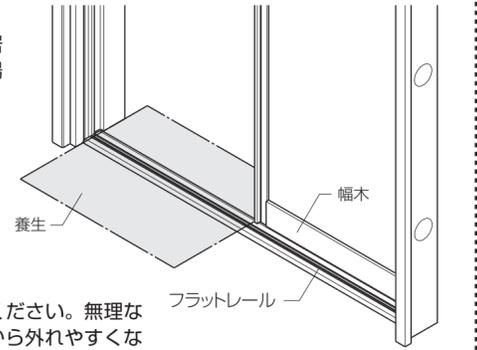
②本体を上げて、本体上部のガイドローラーを上レールにはめ込み、その後、本体下部の戸車を下レールにはめ込みます。



※本体を吊込む際は、ガイドローラーとソフトクローズ部品の位置を確認してください。(右図参照)ソフトクローズ機構が正しく作動しない場合があります。
※ソフトクローズ部品とガイドローラーが干渉しない位置で吊込みを行ってください。



※ソフトクローズ機構調整後、現場作業が続く場合は敷居を養生してください。現場の粉塵がレールに付着し、作動不良の原因になります。



※本体に寄り掛からないでください。無理な力が加わると、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

■ソフトクローズ機構の自動復帰方法

※本体を吊込んでソフトクローズ機構が作動しない場合は以下の手順を行うことでソフトクローズ機構が自動復帰します。

- ①本体を全開してください。
 - ②本体を全閉してください。
 - ③①、②を1~2回繰り返してください。ソフトクローズ機構が復帰します。
- ※必ず縦枠に当たるまで全開・全閉を行ってください。
※開閉はゆっくりと行い、ソフトクローズ機構復帰後は本体を無理に押込んだり、引っ張ったりしないでください。作動不良の原因となります。

